

【理学部】

○ディプロマ・ポリシー

本学部は、人文・社会科学から自然科学に至るまでの幅広い学問を学習し、数学、物理学、化学、生物学、地球学、生物化学などの理学における専門的知識を修得するとともに、主体的な探究心を育み、それに基づく洞察力、問題解決能力と論理的思考力を有し、グローバルな視点から物事を考える高い素養と創造力を身につけ、次世代の社会を担う人材の育成を目指す。この教育目的に照らして、次のような能力を身につけたものに学位を授与する。

1. 数学、物理学、化学、生物学、地球学、生物化学などの自然科学から、人文・社会科学に至るまで幅広く豊かな教養を修得し、グローバルな視点から物事を考える高い素養と能力を身につけている。
2. 理学を学ぶ上で必要となる数学、自然科学の各分野、及び情報技術などの基礎的知識を修得し、論理的思考力を身につけている。
3. 理学を学ぶ上で必要な情報を収集し、量的・質的に分析及び解析し、適切に判断できる能力を備えている。
4. 理学各領域の専門的知識を修得し、さまざまな専門分野における問題解決能力、及び発展させる能力を身につけている。
5. 論理的な記述力、及び口頭発表、討論の能力を身につけ、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を備えている。

<数学科>

基礎的な数学の知識、論理力とともに、数学の最先端に連なる学力を身につけ、伸びやかな発想と論理的思考力で、さまざまな数理的問題に対処できる、次世代の社会を担う人材の育成を目指す。この教育目的に照らし、次のような能力を身につけた学生に学位を授与する。

1. 数学を含む自然科学から、人文・社会科学に至るまで幅広く豊かな教養を修得し、グローバルな視点から物事を考える高い見識と能力を身につけている。
2. 数学、自然科学の各分野、及び情報技術などの基礎的知識を修得し、論理的思考力を身につけている。
3. 数学を学ぶ上で必要な情報を収集し、量的・質的に分析及び解析し、適切に判断できる能力を備えている。
4. 数学の専門的知識を修得し、さまざまな専門分野における問題解決能力、及び発展させる能力を身につけている。
5. 論理的な記述力、及び口頭発表、討論の能力を身につけ、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を備えている。

6. 数学の専門知識と技術を利用して、さまざまな制約条件の下での適切な解決法を見出し、主体的かつ計画的に実施する研究遂行能力を身につけ、それらを応用する力及び創造する力を修得している。

<物理学科>

基礎研究と科学技術に対する社会的要請に応えるために、物理学の深い知識、論理的思考力とともに幅広い自然科学、科学技術の知識を持つ人材の育成が重要である。本学科では、科学者が負っている社会的責任を理解し、物理学が対象とする森羅万象から知見を得るための理論的手法・実験的手法、得た知見を正確に伝える能力の修養を通じて、広く社会に貢献できる人材、及び大学院博士前期課程でさらなる研究を行える人材を育成する。この教育目的に照らして、次のような能力を身につけた学生に学士の学位を授与する。

1. 自然科学、数学、情報科学、さらには人文・社会科学に至るまでの幅広い教養と外国語能力を習得し、社会人として必要な教養、グローバルな視点から物事を考える高い素養、自主的・総合的な判断力を身につけていること。
2. 現代物理学の理論的手法と実験的手法の両方を修得し、あらゆる現象の理解のための基礎的能力と、論理的思考力を身につけていること。
3. 専門的な科目の履修を通して、物理学をさまざまな分野へ応用する能力、それらの分野をさらに発展させる能力を身につけていること。
4. 自由な課題の実験・演習を通して、自らテーマの設定を行うことにより創造力や主体的に考える素養と能力を身につけていること。
5. 得られた知見を正確に伝えるための、論理的な記述力、口頭発表・討論の能力を身につけ、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を備えていること。
6. 科学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、科学者が負っている社会的責任について理解していること。

<化学科>

多様性を認めるグローバルな社会において、複雑な要求（課題）に対応できる総合的人間力を有し、自然科学全般にわたる幅広い素養、化学の専門知識と技能並びにそれを英語で論理的に発信する能力を身につけ、創造的な化学の領域を切り開くことができる人材を養成する。この教育方針に照らし、次の能力を身につけたものに学士（理学）の学位を授与する。

1. 化学、数学、物理学、生物学、地球学、生物化学などの自然科学全般にわたる幅広い素養を修得している。
2. 専門的な科目の履修を通して、化学の基礎を養う。その知識と技術を、境界領域を含む科学の発展に生かす実践力を身につけている。

3. 英文テキストや最新の英語論文を読む能力、研究成果を英語論文として発信する能力の鍛錬を通して、コミュニケーションツールとしての英語能力とその土台となる国語力とコミュニケーション基礎能力を修得している。
4. 理論と実践の両面から、論理的な議論を行うことができ、議論を通じて問題を解決する提案力を身につけている。
5. 化学者としての社会的責任を自覚し、化学の知識を人間社会の発展に生かすための実践的化学力をもって、社会に貢献することができる力を身につけている。

<生物学科>

生物学における専門的知識、生物学に関するさまざまな実験技術、自身が持つ知見を正確に伝える能力の修養を通じて身につけた主体的な探究心と、高い洞察力、論理的思考力と問題解決能力を有し、グローバルな視点から物事を考える高い素養と創造力を身につけた、次世代の社会を担う人材の育成を目指す。この教育目的に照らして、次のような能力を身につけたものに学士の学位を授与する。

1. 数学、物理学、化学、生物学、地球学、生物化学などの自然科学から、人文・社会科学に至るまで幅広く豊かな教養を修得し、グローバルな視点から物事を考える高い素養と能力を身につけている。
2. 生物学を学ぶ上で必要となる数学、自然科学の各分野、及び情報技術などの基礎的知識を修得し、論理的思考力を身につけている。
3. 生物学を学ぶ上で必要な情報を収集し、量的・質的に分析及び解析し、適切に判断できる能力を備えている。
4. 生物学の各領域の専門的知識を修得し、さまざまな専門分野における問題解決能力、及び発展させる能力を身につけている。
5. 論理的な記述力、及び口頭発表、討論の能力を身につけ、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を備えている。
6. 生物学の専門知識と技術を利用して、さまざまな制約条件の下での適切な問題解決法を見出し、主体的かつ計画的に実施する研究遂行能力を身につけ、それらを応用する力及び創造する力を修得している。

<地球学科>

本学科では、地球の形成と進化を現在の地球の環境とその変遷史から解析し、その成果をもとに、地球環境問題の解決や自然災害の予測と対策などの社会的要求に応えることのできる人材の育成を教育目標とする。

上記のような人材育成のためには、幅広い自然科学及び科学技術の知識とこれらを地球学に展開できる能力、またグローバルな視点に基づき多面的に思考できる能力の育成が重要である。本学科では、地球の環境や進化を多面的にまた時系列的に捉えるための理論的

手法・実験的手法、野外での調査技術、得た知見を正確に伝える能力の修養を通じて、さまざまな専門分野における問題解決能力を身につけ、広く社会に貢献できる人材、及び大学院進学により更なる研究を志す人材を育成する。

この方針に照らして、所定の修得要件を満たすことにより、下記の全ての能力を身につけた学生に、学士（理学）の学位を授与する。

1. 数学、物理学、化学、生物学、地球学、生物化学などの自然科学から、人文・社会科学に至るまで幅広く豊かな教養を修得し、グローバルな視点から物事を考えることができる。
2. 地球学を学ぶ上で必要となる数学、自然科学の各分野、及び情報技術などの基礎的知識を修得し、論理的に思考することができる。
3. 地球学を学ぶ上で必要な情報を収集し、量的・質的に分析及び解析し、適切に判断することができる。
4. 地球学の専門的知識を修得し、さまざまな専門分野における問題解決能力を身につけ、それらの分野をさらに発展させることができる。
5. 論理的な記述力、及び口頭発表、討論の能力を身につけ、国際的にコミュニケーションすることができる。

<生物化学科>

さまざまな生体分子やその集合体が高度に組織化されて、多種多様な細胞が形成される。さらに、これらの細胞が相互のコミュニケーションを介して生体システムを構成している。また、生体システムには、外部環境の変化に適応する能力が備えられている。本学科では、これらのメカニズムを分子論的に理解するために必要な化学、生化学、分子生物学、細胞生物化学、バイオテクノロジー、ケミカルバイオロジーなどの専門的知識の修得を目指す。さらに、論理的思考力や幅広い教養を身につけ、専門的知識を生かして、ヒトのさまざまな疾病の発症メカニズムの解明、疾病の予防方法の確立、創薬などに向けた基礎研究に関連した分野で広く社会に貢献できる人材の育成を行う。また、当該分野で国際的な活躍のできる人材の育成を行う。この教育目的に照らして、次のような能力を身につけたものに学士の学位を授与する。

1. 数学、物理学、化学、生物学、地球学、生物化学などの自然科学から、人文・社会科学に至るまで幅広く豊かな教養を修得し、グローバルな視点から物事を考える高い素養と能力を身につけている。
2. 生物化学を学ぶ上で必要となる数学、自然科学の各分野、及び情報技術などの基礎的知識を修得し、論理的思考力を身につけている。
3. 生物化学を学ぶ上で必要な情報を収集し、量的・質的に分析及び解析し、適切に判断できる能力を備えている。

4. 生物化学領域の専門的知識を修得し、さまざまな専門分野における問題解決能力、及び発展させる能力を身につけている。
5. 論理的な記述力、及び口頭発表、討論の能力を身につけ、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を備えている。

○カリキュラム・ポリシー

本学部では、人材養成の方針に従い、下記のカリキュラムを提供する。

1. 学部4年間で一応の完結性をもたせつつ大学院までを視野に入れた、基礎的内容から専門的内容へと段階的に進行する一貫した教育課程を編成する。
2. 幅広く豊かな教養を身につけるために、人文社会科学系科目を含む総合教養科目、及び、健康・スポーツ科学科目を置く。大学入学後、主体的かつ計画的に学ぶ能力を身につけるための初年次教育科目を、また、情報の収集方法やその技術を身につけるための情報リテラシー科目を置く。国際的に通用するコミュニケーション基礎能力養成のため、外国語科目を配置し必修とする。
3. 論理的思考力を身につけるため、数学、自然科学の各分野については、自らの専門領域にとらわれず、基礎科学から応用科学までの幅広い講義、演習及び実験科目を1年次から置く。
4. 知識の修得に合わせて段階的に各学年・学期に設定された演習科目、実験科目を通じて、理学を学ぶ上で必要な情報を収集し、それらを量的・質的に分析及び解析し、適切に判断できる能力を養う。
5. 各学科で必要な専門科目の講義、演習、実験科目を配当し、各学術領域における知識と技術を身につけ、専門分野における問題解決能力、及び発展させる能力を養う。
6. 卒業研究、演習では本学部における最先端の研究テーマを設定して、基礎的な研究遂行能力や成果をとりまとめる能力、論理的な記述力、口頭発表・討論の能力を育成する。系統的な学習・研究能力を担保するため、卒業研究履修要件を設ける。

各科目の学修成果は、定期試験、授業中の小テストや発表などの平常点、レポートなどで評価することとし、その評価方法や基準については、科目毎に授業内容の詳細とあわせてシラバスにおいて明記する。

<数学科>

現代数学の基礎概念を修得し、さまざまな数理的問題に対処できる論理的な能力を身につけるため、専門科目（講義・演習）が基礎から先端まで体系化されたカリキュラムを提供する。

1. 学部4年間で一応の完結性をもたせつつ大学院までを視野に入れた、基礎的内容から専門的内容へと段階的に進行する一貫した教育課程を編成する。
2. 自然科学一般や人間や社会などへの興味を深め、学び方そのものを自分自身でつかむということは大切な経験であることから、初年次教育科目・総合教養科目（キャリア教育科目を含む）を課す。また、情報の収集方法やその技術を身につけるための情報リテラシー科目を課す。

3. 収集した情報の分析及び解析し、適切な判断ができるようになるため初年次で初年次教育科目を課す。
4. 国際化の傾向が強くなっている現在、語学力の習得は必須である。語学力を基に外国文化への関心と理解を深めるために、外国語科目を必修とする。
5. 論理的思考力を身につけるため、数学にとどまらず、基礎科学から応用科学までの幅広い講義・演習科目を1年次から課す。
6. 数学は、とりわけ「積み上げ式」の性格の強い学問である。1年次に専門科目（数学要論 A、B、数学基礎演習 1、2）を積み上げの出発点として提供する。
7. 2年次後半からは、自らの主体的な探求心に基づいて選んだ専門分野について、基礎から先端に至るまで学べるよう選択科目を配置する。
8. 4年次には卒業研究により、自らが課題を発見し、問題を解決し、得られた成果を表現する能力を養う。

<物理学科>

本学科では、物理学の基礎知識の修得、理論的手法・実験的手法の修得及び論理的思考力の養成に重点をおいて教育する。3年次までは、将来の専門分野にとらわれず、物理学の基礎と根幹となる科目を中心に教育を行う。

1. 幅広い教養、多面的な視野、外国語によるコミュニケーション能力を養うために、基礎教育科目、総合教養科目、外国語科目、健康・スポーツ科学科目、さらに現代物理学の基礎となる専門科目を置く。
2. 基礎教育科目の一部に力学・電磁気学などの物理学の基礎となる科目を配置し、統計力学や量子力学といった物理学の根幹を成す科目、より専門的かつ先端的な科目を専門科目として配置する。基礎から根幹、先端へと進む過程で、理論的手法・実験的手法の基礎的能力、論理的思考力を養う。
3. 演習科目を数多く配置して理解を助け、さまざまな専門分野へ応用・発展させる能力を養う。
4. 自由な課題の実験・演習、及び4年次の卒業研究と演習を通じて、創造力や主体的に考える素養と能力、論理的な記述力、口頭発表・討論の能力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を養う。
5. 4年次の卒業研究と演習を通じて、科学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、科学者が負っている社会的責任についても理解する。

<化学科>

人材育成の理念にそって、化学の知識、技能、及び創造的な思考力の3つを涵養するための教育課程を編成・実施する。

1. 全学及び本学科が定める履修規程にしたがって、語学、人文系科目、健康社会、情報科学系の基幹教育科目を学ぶことで、豊かな人間性、社会性、学問の多様性、国際性と語学力を養う。
2. 基礎教育科目を履修することにより化学の基礎となる学力を養う。
3. 1、2、3年次において、化学の基幹となる専門科目である、物理化学、無機化学、有機化学を体系的に学ぶ。
4. 3年次において専門講義と演習科目を学ぶ。化学実験を通じて、化学卒業研究を行うために必要とされる実践的技術を身につける。
5. 化学境界領域への視野を広げること、並びに、専門性の高い研究に対応するための応用力を培うために先端研究探索科目を提供する。
6. 4年次の卒業研究において、少人数のゼミ、セミナー、研究活動を行うことで、より専門性の高い化学研究を実践するとともに、統合的な見地から研究に必要とされる、情報収集力、プレゼンテーション力、創造的思考力、理系作文力、及び学術論文を読解するための英語力を身につける。卒業研究発表と卒業論文の作成を通じて、研究成果とその意義を正しく相手に伝え、議論するためのコミュニケーション力と研究内容を整理し、文書としてまとめる理系作文技術を身につける。
7. 安全教育に関するセミナーを受講することで、化学物質の安全にかかるルール及び化学実験を安全に実施するための知識を身につけるとともに、化学者が果たすべき社会的責務を理解する。

<生物学科>

本学科では、人材育成の方針に従い、下記のカリキュラムを提供する。

1. 学部4年間での完結性を持たせつつ、大学院教育までを視野に入れた、基礎的内容から専門的内容へと段階的に進行する一貫した教育課程を編成する。
2. 幅広く豊かな教養を身につけるために、人文社会科学系科目を含む総合教養科目、及び、健康・スポーツ科学科目を置く。大学入学後、主体的かつ計画的に学ぶ能力を身につけるための初年次教育科目を、また、情報の収集方法やその技術を身につけるための情報リテラシー科目を置く。国際的に通用するコミュニケーション基礎能力養成のため、外国語科目を配置し、必修とする。
3. 論理的思考力を身につけるため、数学、自然科学の各分野については、自らの専門領域の枠を超えた、基礎科学から応用科学までの幅広い講義、演習及び実験科目を1年次から置く。
4. 知識の修得に合わせて段階的に各学年・学期に設定された演習科目、実験科目を通じて、生物学を学ぶ上で必要な情報を収集し、それらを量的・質的に分析及び解析し、適切に判断できる能力を養う。

5. 本学科で必要な専門科目の講義、演習、実験科目を配当し、各学術領域における知識と技術を身につけ、専門分野における問題解決能力、及び発展させる能力を養う。
6. 生物学卒業研究、生物学卒業演習では生物学における最先端の研究テーマを設定して、基礎的な研究遂行能力や成果をとりまとめる能力、論理的な記述力、口頭発表・討論の能力を育成する。体系的な学習・研究能力を担保するため、卒業研究履修要件を設ける。

<地球学科>

本学科では、学位授与方針のもとに、次の7つを目標として教育課程を編成・実施する。

1. 学部4年間で一応の完結性をもたせつつ大学院までを視野に入れた、基礎的内容から専門的内容へと段階的に進行する一貫した教育課程を編成する。
2. 幅広く豊かな教養を身につけるために、人文社会科学系科目を含む総合教養科目、及び、健康・スポーツ科学科目を置く。大学入学後、主体的かつ計画的に学ぶ能力を身につけるための初年次教育科目を、また、情報の収集方法やその技術を身につけるための情報リテラシー科目を置く。国際的に通用するコミュニケーション基礎能力養成のため、外国語科目を配置し必修とする。
3. 論理的思考力を身につけるため、数学、自然科学の各分野については、自らの専門領域にとらわれず、基礎科学から応用科学までの幅広い講義、演習及び実験科目を1年次から置く。
4. 知識の修得に合わせて段階的に各学年・学期に設定された演習科目、実験・実習科目を通じて、理学を学ぶ上で必要な情報を収集し、それらを量的・質的に分析及び解析し、適切に判断できる能力を養う。
5. 地球学で必要な専門科目の講義、演習、実験・実習科目を配当し、各学術領域における知識と技術を身につけ、専門分野における問題解決能力、及び発展させる能力を養う。
6. 野外実習やその基礎となる科目により、地球学の基礎的知識・技術を野外調査に活用する能力を身につける。
7. 卒業研究、ゼミナール及び卒業演習では地球学における最先端の研究テーマを設定して、基礎的な研究遂行能力や成果をとりまとめる能力、論理的な記述力、口頭発表・討論の能力を育成する。系統的な学習・研究能力を担保するため、卒業研究履修要件を設ける。

<生物化学科>

生体分子やその集合体が関与する多彩な生命現象のメカニズムを分子論的に解明する能

力を養うこと、並びに、ヒトのさまざまな疾病の発症メカニズムの解明、疾病の予防方法の確立、創薬などに向けた基礎研究に関連した分野で、広く社会に貢献できる人材を育成することを旨とし、以下のカリキュラムを提供する。

1. 学部4年間で一応の完結性をもたせつつ大学院までを視野に入れた、基礎的内容から専門的内容へと段階的に進行する一貫した教育課程を編成する。
2. 幅広く豊かな教養を身につけるために、人文社会科学系科目を含む総合教養科目、及び、健康・スポーツ科学科目を置く。大学入学後、主体的かつ計画的に学ぶ能力を身につけるための初年次教育科目を、また、情報の収集方法やその技術を身につけるための情報リテラシー科目を置く。国際的に通用するコミュニケーション基礎能力養成のため、外国語科目を配置し必修とする。
3. 論理的思考力を身につけるため、数学、自然科学の各分野については、自らの専門領域にとらわれず、基礎科学から応用科学までの幅広い講義、演習及び実験科目を1年次から置く。
4. 知識の修得に合わせて段階的に各学年・学期に設定された演習科目、実験科目を通じて、生物化学を学ぶ上で必要な情報を収集し、それらを量的・質的に分析及び解析し、適切に判断できる能力を養う。
5. 生物化学を理解するために必要な専門科目の講義、演習、実験科目を配当し、生物化学領域における知識と技術を身につけ、専門分野における問題解決能力、及び発展させる能力を養う。
6. 卒業研究、演習では生物化学領域における最先端の研究テーマを設定して、基礎的な研究遂行能力や成果をとりまとめる能力、論理的な記述力、口頭発表・討論の能力を育成する。系統的な学習・研究能力を担保するため、卒業研究履修要件を設ける。

○アドミッション・ポリシー

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」は、21世紀を「知識基盤社会」の時代と位置づけ、「人々の知的活動・創造力が最大の資源である我が国にとって、優れた人材の育成と科学技術の振興は不可欠」と提言している。国際競争が激化するこれからの社会において、科学技術の実力は、国力を左右すると言っても過言ではない。この答申を踏まえて、本学部は総合的理学部とし、研究大学を目指す本学の理系の教育・研究の中核を担う。世界第一線の研究成果を出し人類の知の最前線を切り拓くとともに、その研究活動を学部教育に還元し、次世代の我が国を担う優れた人材の育成・輩出を行うことを目的とする。本学部を卒業し関連領域における研究者や技術者を目指すためには、柔軟な発想と論理的思考にもとづく課題発見能力と問題解決能力が必要である。

したがって、本学部では次のような学生を求めている。

1. 数学や自然現象に対する強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
2. 論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
3. 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
4. コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5. 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

<数学科>

本学部の求める学生像を受けて、本学科では、数学の深い専門知識の修得と、それに基づいた洞察力や論理的思考能力の涵養を目的として教育を行う。世界レベルの数学の研究に接することを通して、洞察力、論理的思考能力、コミュニケーション能力を鍛錬し、問題解決能力を備えた専門職業人、中学校・高等学校の数学教員、及び大学院進学により更なる数学の研究を志す人を養成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1. 数学への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
2. 数学を理解するために必要な論理的思考力を向上させようと努力する人
3. 自ら進んで数学を学び、ねばり強く考えて問題解決を図ろうとする人
4. 教員や他の学生との議論を通じて、論理的なコミュニケーションに努める人
5. 数学を通じて社会貢献を目指す人

<物理学科>

本学科では、未解決の問題に論理的思考と柔軟性を持って挑む創造性豊かな人材を養成するという社会的要請に応えるために、幅広い教養教育、物理学の理論・実験の両面からの教育に、最先端の研究を組み合わせた系統的なカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1. 自然現象への好奇心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人

2. 物理学を学ぶための基礎的能力、自然の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、問題解決に向けての実行力、さらに自らの知識と考えを表現できる能力を備えている人
3. 国際的視野をもちつつ、物理学に関係する分野で社会に貢献したい人
4. コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5. 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

<化学科>

化学は、物質の成り立ちと性質を原子・分子レベルで理解する学問である。化学の知識と技術は、医薬品・化成品、環境にやさしい機能性素材・電池などの私たちの生活と暮らしに役立つ数多くの有用な物質を生み出す、基幹学問として現代社会に必要な不可欠なものとなっている。本学科では、本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、化学の原理を理解し、化学を実践するために必要な基礎学力を身につけ、新しい化学を創発するための化学の知識と柔軟な思考力を備えた人材を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1. 化学実験や理論を含む化学の幅広い分野に興味をもち、勉学意欲に溢れる人
2. 化学に関する知識を社会におけるさまざまな問題や課題の解決に役立て、社会の発展に貢献したいと考えている人
3. 化学を学び、その活躍の場を地域社会や世界に広げていきたいと考えている人
4. 他の科学分野や広く社会とつながりを持ち、社会の発展のための共生共存の道を探ることができる人
5. 科学倫理を遵守し、研究を実践できる人

<生物学科>

本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、本学科では、生物学に関する基本原理の理解に必要な基礎学力を備え、柔軟な発想と論理的思考にもとづいて課題を発見し、それを解決する能力を持つ学生を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1. 生物及び生命現象に対する強い関心があり、勉学意欲に溢れる人
2. 生物学に関する論理的な思考力、自ら学ぶ探求心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
3. 国際的視野を持ちつつ、生物学に関わる専門知識に基づいて地域社会への貢献をめざそうとする人
4. コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5. 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人
6. 自らの考えを人に伝える能力を持つ人

<地球学科>

幅広い自然科学及び科学技術の知識と、これらを地球の探究に展開できる能力、またグローバルな視点に基づき多面的に思考できる能力が、自然環境や地球環境問題を理解する上で重要である。本学科では、自然環境や地球環境問題を多面的にまた時系列的に捉えるための理論的手法・実験的手法、野外での調査技術、得た知見を正確に伝える能力の修養を通じて、広く社会に貢献できる人材、及び大学院進学により更なる研究を志す人材を育成・輩出することを目的とする。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1. 地球への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
2. 地球の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
3. 国際的視野をもちつつ、地球学に関係する分野で社会に貢献したい人
4. コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5. 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

<生物化学科>

本学科では、生命現象のメカニズムを分子論的に理解する学問である生物化学の関連領域で活躍する研究者や技術者などの人材の育成を目指す。そして、これらの人材に求められる柔軟な発想にもとづく課題発見能力と問題解決能力を身につけるために必要な講義、演習、実習からなるカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1. 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
2. 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
3. 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
4. コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5. 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人